

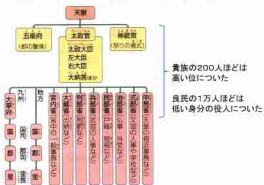
律令国家の成立と平城京

律令政治に向けた歩み

初めての本格的な都 藤原京



律令による役所の仕組み



平城京(奈良)に都が移された

710年



平城京の朱雀大路は幅73m

(唐・長安の朱雀大街は幅147m)

平城京は人口10万人を超える大都市になった。

【平城京の構造と邸宅所在地】



資料出所：遠田晃彦『平城京と朱雀の世紀』講談社学術文庫 2006年 p.111。

復元された平城京・朱雀門



2014年7月撮影

平城京の朱雀門は大きかった



復元中の平城京・大極殿



2014年7月撮影

大極殿の大きさを感じ取ろう



平城京建設で働いた人の日当は？



で支払われた

銭1文は どれ位の価値(値打ち)か？

- ・ 和銅4年(711年)の正倉院文書と続日本紀によれば
- ・ 1日の労働に 銭1文の賃金が支払われた
- ・ そのころは、粳穀(もみがら)付きの米6升＝銭1文
- ・ 粳穀6升は、現代の2升4合(2.4升)と同じ
- ・ 現代の米価は、1升＝800円
- ・ 銭1文＝1920円

全国を五畿・七道に分けて支配した



畿内(五畿)は
大和
山城
河内
摂津
和泉

